※令和４年度以降入学生用

学校番号	3036

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	現代文探究２年_文科	単位数	３単位	年次	２年次
使用教材等	「論理国語」（筑摩書房）、「名作を味わう　定番小説選」（数研出版） 「記述対応　現代文長文演習　標準編　三訂版」等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現代文探究では、様々な分野の高度な評論文を読んでいきます。本文に根拠を求めながら、要旨を正確に捉える力を養い、自らの思考の幅を広げていきましょう。また、多分野の文章に触れることで現代日本や世界全体の社会的な課題を学び、視野を広げるとともに、今後の課題解決方法を論理的に思考する力を養うことも目指します。
・小説は近代以降の作品を読んでいきます。本文に基づいた分析的な解釈を試み、作品の主題を深く理解することを目標とします。また種々の文学表現に触れ、ものの見方や感じ方を豊かにしていきましょう。
・授業の予習では、本文を前もって読み、理解できなかったところを真剣に考えておいて下さい。意味の説明ができない言葉は、事前に調べておくこと。読解力や思考力の向上は、自ら時間を作り、主体的に学習できるかどうかにかかっています。
・高校生として自己管理をきちんと行い、提出物などの期限は必ず守ってください。

2　学習の到達目標

(1) 社会生活において必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
(2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	人と世界を結ぶことばの働きを理解する。 〔教材〕「物語るという欲望」	【知識・技能】 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めることができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習の見通しをもって言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	偏見や先入観にとらわれない議論のあり方を考える。 〔教材〕「近代の精神―遠近法」	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈することができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・本文中の語句の定義を押さえ、粘り強く筆者の主張を読み取ろうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	身近な物事を分析し、その仕組みを捉える。 〔教材〕「ファッションの現象学」	【知識・技能】 ・抽象的な表現の仕方を通して、学習の基礎となる重要語句を文章のなかで理解しようとしている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・具体例に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート
	時代の隔たりから得られる知を学ぶ。 〔教材〕「異時代人の目」	【知識・技能】 ・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めることができている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めることができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習の見通しをもって言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

1	小説から情景や心情を読み取る。 〔教材〕「山月記」	【知識・技能】 ・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く登場人物の心情を把握し、学習課題に沿って主人公の内面と苦悩を理解して、その生き方について考え、話し合おうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	多面的な視点から文章を捉える 〔教材〕「貧困は自己責任なのか」	【知識・技能】 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め、自らレポートを作成する際に使うことができている。 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めることができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
2	「自己」を追い求める近代の特色について考える。 〔教材〕「こころ」	【知識・技能】 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、自ら文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、ものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く登場人物の関係性と心情を描写から把握し、今までの学習を生かして人の心のありようについて考えを深め、自分の考えを話し合おうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 発表	ワークシート
	社会に対する多角的・批判的な見方を学ぶ。 〔教材〕「ファンタジーワールドの誕生」	・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めることができている 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、本文の解釈を通し、異なる立場や視点を整理して理解し、社会に対する多角的・批判的な見方を養っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習の見通しをもって、本文の小見出しなどにも注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	対比的に書かれた筆者の主張を論理的に捉える。 〔教材〕摸倣と「なぞり」	【知識・技能】 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・具体例に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
3	視野を広げ、自身の考えを見直す。 〔教材〕「である」ことと「する」こと	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めることができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	日常に潜む問題を見つけ出す。 〔教材〕「日本の社会は農業社会か」	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。 【思考・判断・表現】 ・「話す・聞くこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、具体的なエピソードに注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	ことばと社会の関係を意識する。 〔教材〕「ビッグデータ時代の『生』の技法」	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、本文の小見出しにも注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　30　）時間

・書くこと　…　（　45　）時間

・読むこと　…　（　60　）時間